

P2P 保険プラットフォームの Frich、Plug and Play Japan から

日本初の資金調達を発表

～ P2P 保険プラットフォームの開発を加速 ～

P2P 保険プラットフォームの開発を進めている Frich 株式会社（東京都港区、代表取締役 CEO 富永 源太郎）は、世界有数のベンチャーキャピタル兼アクセラレーターである Plug and Play Japan（東京都渋谷区、代表取締役社長 ヴィンセント・フィリップ）から資金調達することを発表しました（投資金額非公表）。なお、日本国内における Plug and Play のベンチャー投資は今回が初となります。

Frich 株式会社は、現在、P2P 保険プラットフォーム『Frich（フリッチ）』の開発を進めており、実証実験を計画しています。

1 資金調達の背景

Frich 株式会社は、2018 年 6 月に Plug and Play Japan が主催するアクセラレータープログラム Batch1 の Insurtech 部門で採択されて以来、さまざまな面で Plug and Play Japan との連携を深めてきました。

両社は、保険大国日本における P2P 保険の可能性の大きさ、『Frich』というプロダクトが有する将来性、Plug and Play Japan が有する大企業ネットワーク等の掛け合わせにより、事業の更なるバリューアップが図れるとの認識で合意し、今回の発表に至りました。

2 さらに事業開発強化へ

Frich 株式会社は、今回調達する資金をサービス開発等に活かしつつ、事業面では Plug and Play Japan とともにオープンイノベーションに積極的に取り組み、P2P 保険プラットフォーム『Frich』にかかわる事業開発を更に強化します。

3 Frich 株式会社 代表取締役 CEO 富永 源太郎からのコメント

日本における本格的な P2P 保険プラットフォームの立ち上げには、法規制や明文化されていない慣習等をはじめとして、事前に確認しなければならないポイントが実に多く存在します。また、事業展開にあたっては、「保険」というものが有する公益性を最大限尊重したうえで事業開発を図らねばならない難しさもあります。

今回、Plug and Play Japan を株主としてお迎えするにあたっては、当社の企業戦略において、そうした土台構築の次にある「オープンイノベーション」に大変期待をしています。

スタートアップ企業としての情熱やスピードを大切にしつつ、Plug and Play Japan とともに事業を強化し、『Frich』を一人でも多くのお客様に支持していただけるサービスにしていきたいと考えております。

■Frich 株式会社■

<https://frich.co.jp/>

設立：2018年1月

代表取締役 CEO：富永 源太郎

所在地：東京都港区新橋 1-12-9 A-PLACE 新橋駅前 6F

事業内容：・P2P 保険に関するシステムサービス
・損害保険代理店業及び生命保険の募集

■本プレスリリースに関するお問い合わせ先■

Frich 株式会社

PR 担当

info@frich.co.jp